

令和3年度 夏休み

東国文化自由研究

テーマ

『郷土自慢 岩宿遺跡』

太田市立宝泉東小学校

6年1組 栗原ひすい

岩宿遺跡について

<目次>

1, はじめに、(動機, 調査, 目的)

2, 岩宿遺跡について

① 岩宿遺跡とは

② 岩宿時代とは

③ 相澤忠洋について

④ 赤土 (ローム層)

3, 国の指定文化財

4, 岩宿遺跡のこれから

5, さいごに、(まとめ)

1, はじめに...

<動機>

- 6月に, 6年校外学習で岩宿に初めてふれた。
- 身近で凄いと思ったから。
- もっと知りたいと思ったから。
- もっと知ってもらいたいと思ったから。

<目的>

- 群馬の歴史を調べることにより、郷土の知識を深めて得ること。
- 一人でも多くの人に、東国文化の一つ、岩宿遺跡を知ってもらいたい。

<調査方法・調べ方>

- 現地へ行く
 - 副読書
 - HPの活用
 - パンフレット
 - 図書館
- 実際に行った時のことをまじえてまとめてみました。

2. 岩宿遺跡について

① 岩宿遺跡とは

当時は、縄文時代より前の時代は、日本には無いと言われていた。1946年、相澤忠洋によって関東ローム層(赤土)から石器(槍先形尖頭器)を発見。この発見により、考古学、日本史の常識が大きく変わった。縄文時代前に、日本にも旧石器時代に人々が生活していたことをはじめて明らかにした。



↑ 岩宿博物館



← 石^{せき}
ひ



↑ 岩宿遺跡A地点



〈空から見た岩宿遺跡〉



↑ 岩宿ドーム



← 相澤忠洋さんが発見した石槍



← 岩宿ドーム内の様子

2, 岩宿遺跡について

③ 相澤忠洋について

納豆などの行商をしながら、考古学研究に励んでいた。

1946年(昭和21年)11月、約3~2万年前の地層である関東ローム層の中から石器を見つけた。縄文時代前の岩宿時代発見の第一人者。旧石器時代の日本列島は、火山活動が盛んで、人が住めなかったと考えられていたので、石の発見により、時代をひっくり返す画期的な大発見となった。最初に学問の常識を打ち破った相澤さんの功績は、郷土の誇りである。



相澤 忠洋さん
(1926~1989)

固定観念に捕われず
信念を貫き続けた考古学者。

語れない。



岩宿遺跡は、相澤さんの存在なくして

↑相澤忠洋さんの記念ひ
(岩宿ローム)

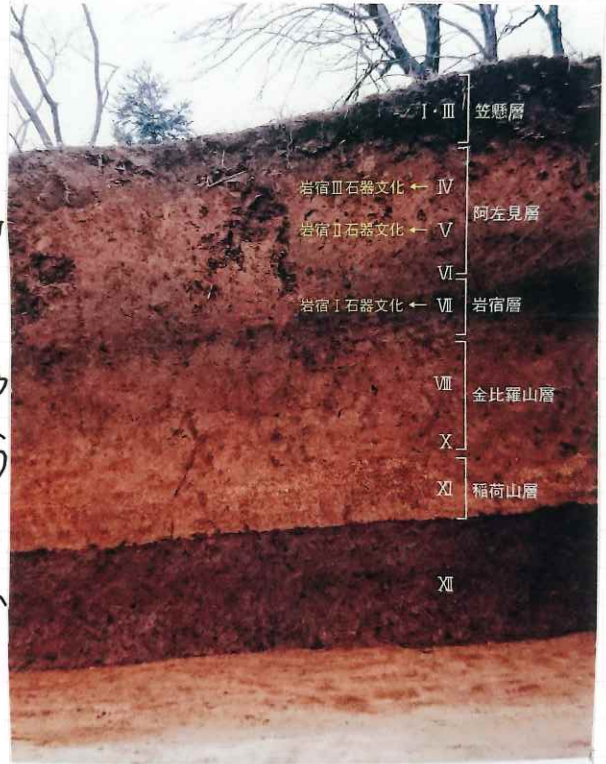
2, 岩宿遺跡について

④ 赤土(ローム層)

岩宿遺跡は、赤土(ローム層)の中から石器が発見されたことで、それが岩宿(旧石器)時代の遺跡であることがわかった。

岩宿時代の発見により、ローム層の研究や火山灰の研究がさかんになった。火山から一度の噴火で噴出された火山灰がどのような動きで広がるかなど、分析や、詳しい研究がされるようになった。

岩宿遺跡は、約3メートルのローム層が確認されている。その多くは、浅間山、榛名山、赤城山などの火山灰からできている。



↑ 岩宿遺跡の関東ローム層



← 岩宿遺跡の発掘調査

1949年9月11日



↑ (左) 相澤忠洋 (右) 芹沢長介

当時民間の考古学者の相澤さんの発見を世間は認めにくれるだろうかと悩んでいた時、相澤が所用で群馬から東京に出てきた際に出会ったのが、明治大学で考古学を専攻していた芹沢だった。



↑ 岩宿I石器文化の石器 (約3.5万年前)



↑ 岩宿II石器文化の石器 (約2.5万年前)

3. 国の指定文化財

岩宿遺跡

指定区分：国指定史跡
指定年月日：昭和54年，8月，17日
追加指定：平成29年，10月，13日
所在地：弘前市笠懸町阿左美2403

— 主な文化財 —



↑ A地点、石



↑ 岩宿A地点、(全景)



← 岩宿 B地点
(岩宿ドーム)



追加指定地と主要な調査地点



石器の見つかった様子



見つけた旧石器時代の石器

追加指定された場所 (岩宿遺跡 F地点)

4. 岩宿遺跡のこれから

史跡指定と自然環境の保護

←教科書などで幅広く知られると見学に来込みが増加。多くの人を知る。岩宿時代の発見もだが、歴史は発見や研究から変わるという所から一時期教科書から縄文時代も消えたようにだが、今は復活。



カタクリの花

史跡指定によって岩宿遺跡を含む二つの丘陵は、その大部分がそのまま保存され、自然環境も保護されてきた。カタクリの花は、みどり市の天然記念物。



岩宿遺跡の生きた活用

小学校6年生になって歴史を学ぶが、小学校の教科書は、縄文時代から始まる。同県内小学生は、校外学習にて、数年前の岩宿時代に入れることができる。



かふた

昨年、2020年には、「上野三碑かふた」が発売された。

①の礼で岩宿遺跡に入れている。

平成29年、10月、31日にユネスコ「世界の記憶」に登録された。

↑岩宿博物館のマンモス像(シリアカ)

岩宿時代を象徴するマンモスだが国内で実在したのは北海道だけ。

みどり市マスコット → みど"モス



5, さいごに (感想)

相澤忠洋さんによって発見された岩宿遺跡。
岩宿遺跡の発見がなければ、発掘調査もなく、日本の
始まりは縄文時代のままだったことでしょう。

今回、岩宿遺跡について、遺跡、時代、人物、赤土と、
それぞれ調べてみて、赤土から出てきた槍先形尖頭器
は相澤さんに発見してもらったのを待っていたように
感じました。また、発見した相澤さんは、行商をしながら
興味を持っていた考古学を本格的に学びはじめたのも
縁があって父親がいた桐生だったこと。行商をし
ていなかったら、みどり市の稲荷山と琴平山の
切り通しの道で、崖の断面から石片を見つけ
出すこともなかったと思う。自分の住む
群馬県には、沢山の歴史的文化財もある中
岩宿遺跡は、歴史を大きく変えた誇りある遺跡
だと思う。深く知る機会となり、また沢山のの人に
知ってもらえると嬉しい。

このレポートのために岩宿遺跡へ行ったのは、
8月中頃。岩宿博物館では、令和3年、7月、2日から
10月1日まで岩宿遺跡出土の重要文化財の展示が
あるとホームページにのっていたが、コロナ禍で
閉館となり、思うように資料集めや作業に苦勞した。
再度博物館に行くことはできなかつたけど、みどり市
のホームページに沢山のわかりやすくてのっていた
ため、幅広く興味深く調べることができた。



参考文献

太田中央図書館にて

- ・「旧石器時代」の発見 岩宿遺跡 — 小菅 将夫
- ・旧石器時代ガイドブック — 堤 隆
- ・群馬の遺跡①旧石器時代 — (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 編
- ・相澤忠洋「岩宿」の発見 幼の旧石器を求めて — 高野義夫
- ・「岩宿」の発見 まぼろしの旧石器を求めて — 相澤 忠洋

教科書

- ・中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き — 帝国書院
- ・東国文化副読本～古代ぐんまを探検しよう～ — 群馬県

その他

- ・みどり市ホームページ
- ・岩宿博物館ホームページ
- ・相澤忠洋記念館ホームページ
- ・岩宿博物館パンフレット
- ・上野三碑かるた (上毛新聞社)
- ・岩宿遺跡 岩宿人の広場へ訪問
— みどり市笠懸町 阿左美 1790-1